



証券コード：7408

株主のみなさまへ

第72期
中間報告書

平成23年4月1日▶平成23年9月30日

株式会社 **ジャムコ**

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

東日本大震災以降、被災した仙台整備工場は操業停止を余儀なくされておりましたが、復旧工事及び操業再開に向けた準備を鋭意進めてまいり、10月半ばに操業を再開することができました。株主の皆様をはじめ、関係者並びにお客様には大変なご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げますとともに、多大なるご支援・ご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

当第2四半期（上半期）決算は、仙台整備工場の操業停止による影響に加えて、今期に入り更に急騰した円相場の影響を大きく受ける結果となりました。

当初の経営計画においても、この上期は震災の影響も加味して損失を予定しておりましたが、第3四半期以降にこれを挽回し、通期では黒字を確保するものとしておりました。しかしながら、下期に収益は改善に向かうものの、この円高相場は当面続くものと予想されることから、通期においても残念ながら損失が残るものと見通しております。

こうしたなか、当社グループでは、整備事業の操業再開とともに他の事業においても収益改善に向けた種々の施策を推進しております。今期の業績改善努力を続ける一方、来期の黒字化に向けて努力してまいります。

さて、当社グループの第72期中間決算（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）が確定いたしましたので、ご挨拶をかね、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月



代表取締役社長 寺田 修

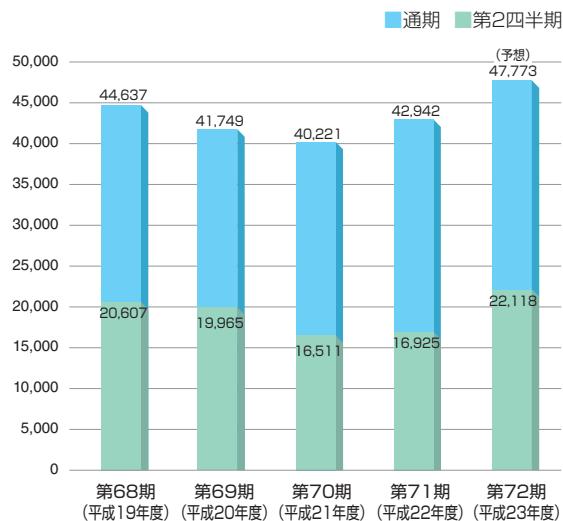
ジャムコ 経営理念

技術のジャムコは、士魂の気概をもって

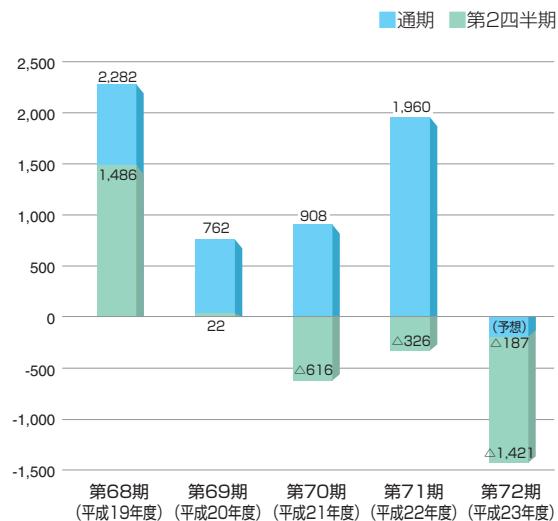
- 一、夢の実現におけて挑戦しつづけます。
- 一、お客様の喜びと社員の幸せを求めていきます。
- 一、自然との共生をはかり、豊かな社会づくりに貢献します。

業績の推移(連結)

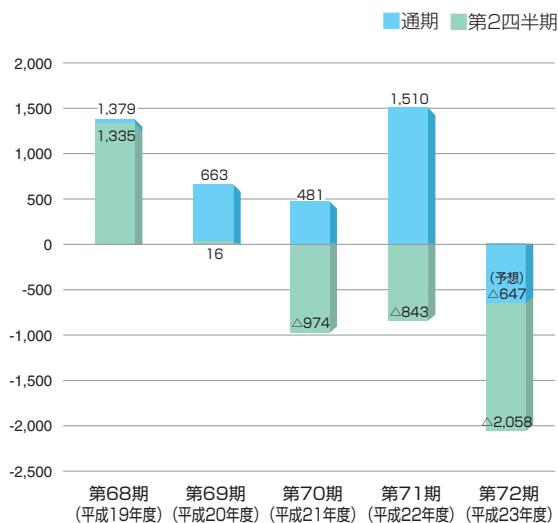
●売上高(単位:百万円)



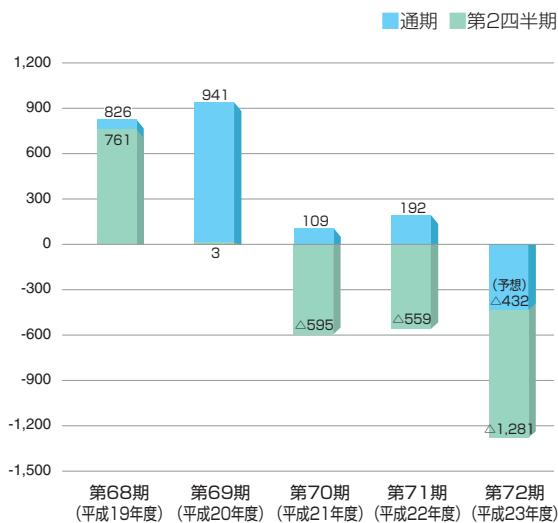
●営業利益(単位:百万円)



●経常利益(単位:百万円)



●純利益(単位:百万円)



当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間は、中国などを中心とした新興諸国において景気は堅調に推移したものの、日本における東日本大震災によるマイナス成長、米国における景気の減速、欧州ではギリシャをはじめとした財政危機など、先進諸国の経済は弱含みで推移しました。又、こうした欧米の経済状況を背景に、円相場は高値で推移し、輸出売上高比率の高い当社にとっては厳しい状況が続きました。

航空輸送業界では、競争激化や原油高など経営環境は依然として厳しく、大手航空会社によるロー・コスト・キャリア（LCC）と呼ばれる格安航空会社の設立や資本提携などの動きが目立ちました。一方、ボーイング、エアバスなど主要航空機メーカーの受注は引き続き堅調で、受注残機数が前年同四半期より増加しており、両社ともに増産に向けた取り組みを進めています。就航が遅れていた最新鋭機ボーイング787は、その初号機が9月26日に全日本空輸に引き渡され、いよいよ定期路線に就航する運びとなりました。

こうしたなか当社では、内装品事業においては、ボーイング787関係内装品の出荷が本格化したことにより前年同四半期と比べ増収となりましたが、為替相場が期初から円高で推移したことによる外貨建て売上高の目減りにもなって採算性が悪化し、更に当第2四半期末において第3四半期以降の想定為替レートをより円高へと変更したことで工事損失引当金が増加し、損失が膨らみました。機器製造事業では、防衛関係部品の受注回復により前年同四半期と比べ収益が増加しました。整備事業では、震災の影響を受けた仙台整備工場が操業停止を余儀なくされ、顧客先での出張整備などで売上高の一部を確保するとともに、工場復旧に尽力し10月半ばの操業再開の準備を整えましたが、前年同四半期と比べ収益は大きく減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 22,118百万円（前年同四半期比 5,193百万円増）、営業損失 1,421百万円（前年同四半期は、営業損失 326百万円）、経常損失 2,058百万円（前年同四半期は、経常損失 843百万円）、四半期純損失 1,281百万円（前年同四半期は、四半期純損失 559百万円）となりました。

航空機内装品等製造関連事業

当事業の方針

当社固有の技術と戦略的提携による他社の技術を総合的に融合し、航空機客室内の全装備を網羅したトップメーカーを目指します。

当事業の業績の概要

当事業では、ボーイング787関係の出荷が本格化してきたことで前年同四半期より売上高は増加しましたが、スペアパーツ販売の減少や為替相場が円高で推移したことにより損失が増加しました。又、第3四半期以降の想定為替レートを1米ドル当たり85円から80円へと修正したことによってドル建て取引の採算が悪化する見通しとなり、当第2四半期末において工事損失引当金が増加しました。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高 17,060百万円（前年同四半期比 5,242百万円増）、経常損失 1,718百万円（前年同四半期は、経常損失 555百万円）となりました。

なお、当事業では、将来の増産と円高への対応を目的に内装品部品製造等の生産委託先としてフィリピンに、連結子会社JAMCOPHILIPPINES, INC.を本年6月に設立するとともに、その他の関連会社を含めたサプライチェーンの効率化をはじめ、更なるコスト・ダウン策を推し進めてまいります。



ジャムコフィリピン NCマシンングセンター



ボーイング787搭載ラバトリー



ボーイング787搭載ギャレー

航空機器等製造関連事業

当事業の方針

先端技術と熟練技能を融合させた高度な設計・生産技術を追求し、付加価値の高い製品およびサービスを顧客に提供します。

当事業の業績の概要

当事業では、防衛関係部品の受注が回復したことに加え、炭素繊維構造部材（ADP）および民間航空機エンジン部品の生産量が7月以降増加しており、収益は前年同四半期を上回りました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 2,576百万円（前年同四半期比 868百万円増）、経常利益 18百万円（前年同四半期は、経常損失 335百万円）となりました。



熱交換器組立作業



エンジン部品生産ライン

航空機整備等関連事業

当事業の方針

飛行安全を基本に、継続性の高い事業を主体にするとともに、技術力主導の高付加価値を生む業務の比重を高めます。

当事業の業績の概要

当事業では、機体整備の中核工場である仙台整備工場が震災により操業停止を余儀なくされていましたが、施設の復旧工事及び整備用機材の調達など、工場再開の準備を進めました。操業停止による作業量の減少に対しては、人員の再配置や一部の生産現場を装備品整備の他工場へ移管するなどの対策を講じるとともに、顧客先での出張作業を行うなど作業量の確保に努めました。収益は厳しいものとなりました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 2,482百万円（前年同四半期比 917百万円減）、経常損失 365百万円（前年同四半期は、経常利益 36百万円）となりました。

なお、仙台整備工場は10月に工場での操業を再開しましたが、逸早く従来の操業状態に回復させるべく取り組んでまいります。



VRU(ビデオレコーディングユニット)ISS国際宇宙ステーション(きぼう)搭載



エマージェンシーフロート(ヘリコプターが不時着水するときに、機体が水没することを防ぐために膨らませる非常用の浮き袋)の整備



震災復旧後の仙台整備工場第二格納庫

■ 四半期連結損益計算書 (単位：千円)

科 目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売 上 高	22,118,954	16,925,210
売 上 原 価	21,282,077	15,019,304
売 上 総 利 益	836,877	1,905,905
販売費及び一般管理費	2,258,823	2,232,139
営業損失(△)	△ 1,421,946	△ 326,233
営業外収益	39,867	35,262
受 取 利 息	3,122	1,169
受 取 配 当 金	2,364	1,548
持分法による投資利益	8,805	8,707
保 険 配 当 金	5,965	8,390
そ の 他	19,609	15,446
営業外費用	676,248	552,762
支 払 利 息	151,917	165,587
為 替 差 損	506,434	382,877
そ の 他	17,895	4,296
経常損失(△)	△ 2,058,327	△ 843,733
特別利益	122,371	17,344
固定資産売却益	178	—
貸倒引当金戻入額	—	950
補助金収入	15,625	16,394
受 取 保 険 金	100,000	—
そ の 他	6,566	—
特別損失	263,443	28,729
固定資産処分損	225	2,696
災害損失	263,218	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	26,032
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 2,199,399	△ 855,118
法人税、住民税及び事業税	64,493	107,903
法人税等調整額	△ 970,926	△ 417,136
少数株主損益調整前 四半期純損失(△)	△ 1,292,966	△ 545,885
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 11,588	13,940
四半期純損失(△)	△ 1,281,378	△ 559,826

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：千円)

科 目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 127,428	1,700,387
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 2,199,399	△ 855,118
減 価 償 却 費	567,976	615,748
引当金の増減額(△は減少)	448,834	425,388
受取利息及び受取配当金	△ 5,486	△ 2,717
支 払 利 息	151,917	165,587
為替差損益(△は益)	34,190	39,066
持分法による投資損益(△は益)	△ 8,805	△ 8,707
有形固定資産売却損益(△は益)	47	2,696
売上債権の増減額(△は増加)	1,995,247	5,099,459
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 1,158,613	△ 4,112,612
仕入債務の増減額(△は減少)	807,959	533,495
そ の 他	△ 326,293	80,055
小 計	307,572	1,982,342
利息及び配当金の受取額	13,069	8,766
利息の支払額	△ 143,765	△ 164,961
その他の収入	134,985	47,389
その他の支出	△ 87,923	—
法人税等の支払額	△ 351,367	△ 173,148
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 566,396	△ 252,578
有形固定資産の取得による支出	△ 520,946	△ 256,737
有形固定資産の売却による収入	2,006	—
投資有価証券の取得による支出	△ 1,305	△ 1,152
貸付金の回収による収入	2,778	913
貸付けによる支出	△ 900	△ 700
そ の 他	△ 48,030	5,098
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,351,908	△ 2,303,167
短期借入れによる収入	6,771,606	1,002,195
短期借入金の返済による支出	△ 7,800,000	△ 3,884,459
長期借入れによる収入	—	900,000
長期借入金の返済による支出	△ 174,028	△ 124,706
リース債務の返済による支出	△ 65,295	△ 51,138
自己株式の取得による支出	△ 668	△ 1,011
配当金の支払額	△ 80,650	△ 134,363
少数株主への配当金の支払額	△ 2,870	△ 9,684
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 79,407	△ 118,936
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 2,125,140	△ 974,294
現金及び現金同等物の期首残高	3,451,451	4,808,542
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,326,310	3,834,247

会社概況

■ 会社概要 (平成23年9月30日現在)

商号

株式会社ジャムコ

本社

東京都三鷹市大沢六丁目11番25号

設立年月日

昭和24年3月15日

創立年月日

昭和30年9月1日

主な事業内容

航空機内装品等製造関連事業

ギャレー、ラバトリー、ギャレー搭載用各種装備品等の製造

航空機器等製造関連事業

熱交換器、航空機用炭素繊維構造部材、民間航空機エンジン部品等の製造

航空機整備等関連事業

航空機の機体、客室、装備品等の整備・改造

資本金

5,359,893千円

従業員数

連結：2,185名

個別：1,146名

■ 役員 (平成23年9月30日現在)

代表取締役社長

寺田 修

代表取締役副社長

牧 信介

代表取締役副社長

鈴木 善久

代表取締役副社長

佐久 文昭

専務取締役

大倉 敏治

常務取締役

床鍋 秀夫

取締役

石橋 秀一

取締役

星野 信也

取締役

杉浦 勝利

取締役

比留間 正和

取締役

関川 安雄

取締役

小澤 発雄

社外取締役

後藤 健太郎

社外取締役

矢口 秀雄

監査役

江上 良民

監査役

白水 茂喜

社外監査役

穂山 健太郎

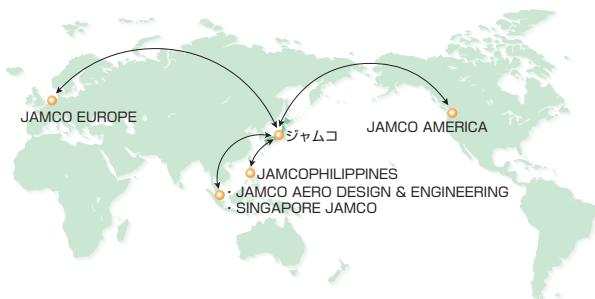
社外監査役

河村 寛治

■ 子会社／関連会社の状況 (平成23年9月30日現在)

会社名	資本金	持株比率	主な事業内容
株式会社 新潟ジャムコ	300百万円	100%	航空機内装品製造
株式会社 宮崎ジャムコ	100百万円	100%	航空機内装品製造
株式会社 徳島ジャムコ	30百万円	100%	航空機、航空機装備品整備改造
株式会社 ジャムコエアロテック	30百万円	100%	航空機、航空機装備品整備改造
株式会社 オレンジジャムコ	10百万円	100%	航空機部品の組立補助作業等 (障がい者特例子会社)
株式会社 ジャムコテクニカルセンター	30百万円	100%	航空機内装品及び航空機製造 の新技術、新製品の開発等
JAMCO AMERICA, INC.	10,000千US\$	75%	航空機内装に関する業務 部品調達業務等
JAMCO EUROPE B.V.	181千EUR	100%	カスタマーサポート 部品調達業務等
JAMCO AERO DESIGN & ENGINEERING PTE LTD.	1,000千US\$	※1 5%	航空機内装に関する技術業務
JAMCOPHILIPPINES, INC.	43,000千PHP	※2 40%	航空機内装部品製造
※3 SINGAPORE JAMCO PTE LTD.	4,400千SG\$	30%	航空機内装品整備及び製造

※1 連結子会社の所有割合と当社の所有割合を合計した所有割合は55%であります。
 ※2 連結子会社の所有割合と当社の所有割合を合計した所有割合は100%であります。
 ※3 持分法適用関連会社であります。



■ 事業所一覧

本社 東京都三鷹市	東京整備工場 千葉県成田市
東京事務所 東京都大田区	装備品工場 東京都調布市
[航空機内装品カンパニー] 内装品工場 東京都立川市	仙台整備工場 宮城県岩沼市
[航空機器製造カンパニー] 機器製造工場 東京都調布市	羽田事業所 東京都大田区
[航空機整備カンパニー] 営業部・技術部 東京都大田区	宮崎事業所 宮崎県宮崎市
	帯広事業所 北海道帯広市



株式の概況

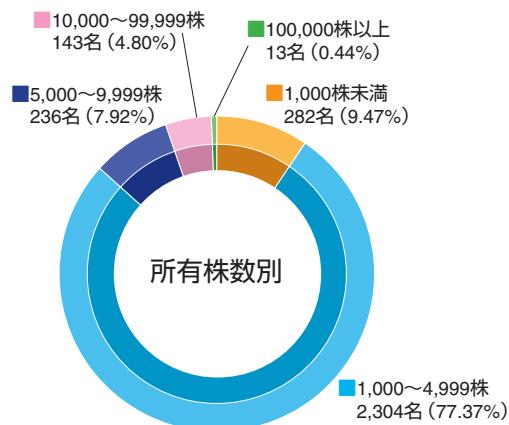
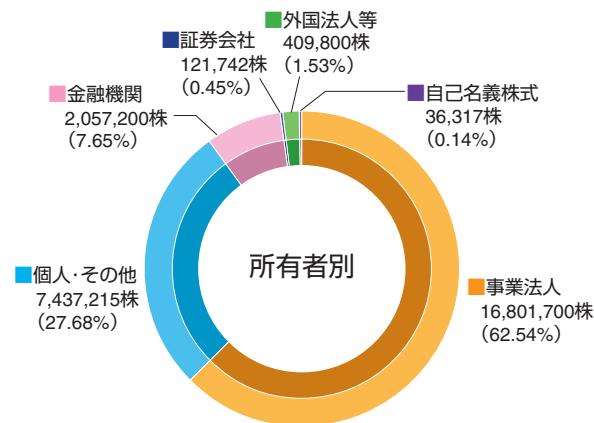
■ 株式の状況 (平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	26,863,974株
株主数	2,978名
上場証券取引所	東京証券取引所第2部 (コード番号7408)

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
伊藤忠商事株式会社	8,901	33.13
全日本空輸株式会社	5,373	20.00
昭和飛行機工業株式会社	2,003	7.45
ジャムコ従業員持株会	747	2.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	743	2.76
三菱商事株式会社	221	0.82
株式会社みずほ銀行	200	0.74
株式会社三菱東京UFJ銀行	200	0.74
ザ バンク オブ ニューヨーク - ジャスディックトリーティ アカウント	184	0.68
アクサ生命保険株式会社	148	0.55

■ 株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/7408/7408.html (但し、電子公告によることが出来ない事故、その他の止むを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) なお、計算書類及び連結計算書類に係る情報は、インターネット上の当社ウェブサイト (http://www.jamco.co.jp/) においてご覧いただけます。

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできません。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



<http://www.jamco.co.jp/>

お問い合わせ先 広報・IR 経営企画部 Tel.0422-31-6112

株式会社 **ジャムコ**

本社 〒181-8571 東京都三鷹市大沢六丁目11番25号
TEL 0422-31-9111

